

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	（理念） ・未来の希望に向かって発展・向上する明るい元気な子どもを育む。 ・心豊かなエコ環境と優しい地域社会に生き生きと共生する子どもを育む。 ・みんなを親しみ愛し、太陽のように暖かい心を持った子どもを育む。 （方針） ・働く女性をサポートし、子どもがいても安心して働ける社会づくりに寄与する価値ある組織を創造する。 ・未来を担う子どもたちのために「A to Z（何から何まで）」お任せいただける組織を創造する。 ・地域の子育て家庭をサポートするために、有益な情報の交流や発信の役割を担う組織を創造する。
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割
	・自ら考え行動できる人材。 ・柔軟な考えを持っており、相手の立場になって物事を考えられる人材。
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	・常に向上心を持ち、保育の質の向上のため、努力を続ける。 ・保育園で働くことの社会的責任と社会に貢献しているという自覚と自信を持つ。

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	保育園に通っている園児12世帯16人に対して調査を行った。同一保育園に2名以上の園児を預けている場合には、年齢の一番低い園児に対して回答して頂いた。		
調査方法	保護者に、封入したアンケート用紙を回収ボックスに投函願ひ、回収ボックスごと回収したうえで集計した。傾向を掴むために、各問い別のグラフを用い分析し、保護者の属性でもある勤務形態（常勤勤務とそれ以外）の比率を把握することで自由意見などのバラツキも確認できた。		
	利用者総数	16	
	利用者家族総数（世帯）	12	
	共通評価項目による調査対象者数	12	
	共通評価項目による調査の有効回答者数	12	
	利用者総数に対する回答者割合（％）	100.0	

利用者調査全体のコメント

総合的な感想として園に対する満足度は、「大変満足」75.0%、「満足」8.3%の計83.3%であった。

自由意見では、「子どもの日々の変化や様子を細かく見て下さっていて、大変助かります」「新しい園なので、清潔感があり、寒い日でも床暖房があって良いです」「給食はおいしいみたいで、いつも完食して帰ってきます」など、子どもや保護者への配慮など職員の対応、日常の保育などに対する感謝の声が寄せられている。向上または検討を望む意見としては、保護者とのコミュニケーションに関することや保育内容、職員の子どもや保護者への対応、設備に関することなど、回答者個々の考え方や気になる点が寄せられている。設問別では、「心身の発達」「興味や関心」「食事」「自然や社会との関わり」「保育時間の変更」「安全対策」「信頼関係」「整理整頓」「接遇」「病気やけが」「トラブル対応」「気持ちの尊重」「プライバシーの保護」「保育内容の説明」「不満や要望の対応」などの17問中15問が80%以上の支持を得ている。それ以外の設問は50%台前半～70%台後半の支持を得ている。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	12	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「家では学べない事を学んできています」という声が寄せられていた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	12	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	11	0	1	0
「はい」の回答は91.7%、「いいえ」の回答は8.3%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	10	2	0	0
「はい」の回答は83.3%、「どちらともいえない」の回答は16.7%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	10	0	1	1
「はい」の回答は83.3%、「いいえ」の回答は8.3%、「無回答・非該当」の回答は8.3%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	12	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「去年の第三者での意見が、今年反映されています」という声が寄せられていた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	8	3	0	1
「はい」の回答は66.7%、「どちらともいえない」の回答は25.0%、「無回答・非該当」の回答は8.3%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	11	1	0	0
「はい」の回答は91.7%、「どちらともいえない」の回答は8.3%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	12	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	12	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「素晴らしいです」という声が寄せられていた。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	12	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「看護師の方がいらっしゃるので安心です」という声が寄せられていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	10	1	0	1
「はい」の回答は83.3%、「どちらともいえない」の回答は8.3%、「無回答・非該当」の回答は8.3%であった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	11	0	1	0
「はい」の回答は91.7%、「いいえ」の回答は8.3%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	12	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	12	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	11	1	0	0
「はい」の回答は91.7%、「どちらともいえない」の回答は8.3%であった。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	7	4	1	0
「はい」の回答は58.3%、「どちらともいえない」の回答は33.3%、「いいえ」の回答は8.3%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリ1～5、7）

No	共通評価項目		
1	カテゴリ1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリ1（1-1）		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の	7/7
	標準項目実施状況		
	評価項目1		
	事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している		評点（〇〇）
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	◎あり ○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目2		
	経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事務所をリードしている		評点（〇〇）
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	◎あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
	評価項目3		
	重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点（〇〇〇）
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
	◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
	◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
	カテゴリ1の講評		
	① 園の理念や方針は保護者に向けて分かりやすく周知されている 事業所が目指していることの実現に向けて、入園希望者に対する入園の受入と園のしおりを発行しており、園の保育理念を示している。また、園のポスターやホームページ、facebookからもさまざまな情報が発信されている。園目標と保育目標を園のしおりに掲載して入園時に説明しており、年2回の運営委員会や保護者会などでも説明している。さらに、これらは玄関や園内に分かりやすく掲示されている。 ② 経営層としての責任や役割の周知は都度に行われている 職員への理念や目標の周知については、年度当初にオリジナルの「保育の内容に関する全体的な計画」を全職員へ配布している。年3回行われている職員面談の場では、工夫のある「キャリアビジョンシート」を活用してビジョンを確認している。経営層は法人の既存園の園長会、主任会議、保育向上リーダーそれぞれの会議に参加し、自らの役割について情報交換、発表をし、自園での活動をフィードバックしている。保育力向上リーダーや主任、園長による保育		

	内容の見直しが都度行われている。 ③ 園運営に関わる重要事項は、法人を通して職員や保護者に周知されている 経営層の意志決定については、園長判断のもと、決定には代表、本部への報告、相談を行ったうえで実施している。 例えば、各種会議の目的や組織図など、園運営に必要な情報を盛り込み、全職員で進捗管理していくくみの検討に期待したい。 決定事項の周知に関しては各会議や朝礼などの場で経緯が伝えられており、改善検討も行われている。 保護者にはお知らせや園だよりなど通じてそのつど周知が行われており、重要な案件については、一人一人の保護者への直接の声かけも行っている。		
2	カテゴリー 2		
	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
	サブカテゴリー 1 (2-1)		
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の 6 / 6 標準項目実施状況
	評価項目 1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している 評点 (○○○○○○)		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
	◎あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	◎あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
	◎あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
	◎あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
	サブカテゴリー 2 (2-2)		
	実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 5 / 5 標準項目実施状況
	評価項目 1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 評点 (○○○)		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
	◎あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
	評価項目 2 着実な計画の実行に取り組んでいる 評点 (○○)		
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当	
◎あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当	
カテゴリー 2 の講評			

① 保護者の意向把握への対応が日常的に行われている

利用者の意向については、送迎時の会話や連絡帳・保護者個人面談などを通じて把握している。また、行事終了後にはアンケートを行い、利用者の希望や意向・苦情などの内容を分析して園の共通認識にするとともに、園だよりと共に月に一回アンケート用紙を配付し、利用者のコメントに対し園長がその都度返事を返す。また、年度末には一年間の評価をアンケートを配布、集計し利用者にも結果を公表している。事業所運営に対する職員の意向を把握の面では、年3回の職員面談で行っている。その際は、職員問題経過報告、問題が表面化した場合は、園長が記録として残すことで、自己評価表やキャリアビジョンシートの関連性を保っている。

② 小規模保育園としてのさまざまな課題を捉え、計画を策定して事業運営を推進している

保育事業に関する区の中長期計画として、昨年度の反省と令和2年度を目標とした「中期事業計画」が策定されている。諸計画の推進に向けた活動としては、複数のプロジェクト活動や研修による環境整備の事例研究の展開、安全面での詳細なデータ整理、クラスや係りでの諸計画の進捗状況の検証などが行われている。

計画の策定と見直しについては、月ごと・期ごと・半期・年度末など、それぞれに応じた作成と見直しを行い、反省をかけて次期に繋げている。また、保育を始めとする諸書式には自己評価欄を設けてあり、常に現場からの声を反映させている。

③ 地域レベルにおけるさまざまな情報収集活動が行われている

地域レベルや福祉・保育全般に関する情報の把握や分析に関しては、行政の園長会や小規模保育園連絡会などから情報収集されているほか、業界誌の学習も行われている。なかでも行政からのメールや行政主催の会議などの情報は、園長自ら内容を詳細に分析し、保育の運営上に役立てている。区の保育の質ガイドラインの活用面として、園の保育の振り返りと自己評価に活かしている。なお、園では地域特性である地域住民のニーズに即した交流を進めて行きたいと考えている。

3

カテゴリー 3

経営における社会的責任

サブカテゴリー 1 (3-1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の 2 / 2
標準項目実施状況

評価項目 1

社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

評点 (〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当

サブカテゴリー 2 (3-2)

利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

サブカテゴリー毎の 4 / 4
標準項目実施状況

評価項目 1

利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

評点 (〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当

評価項目 2

虐待に対し組織的な防振対策と対応している		評点 (〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
◎あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリー 3 (3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の 5/5 標準項目実施状況
評価項目 1		
透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点 (〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目 2		
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点 (〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
◎あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 3 の講評		
① 法人の規程等に則った、法・規範・倫理などのしくみが整っている 守るべき法や規範・倫理などについて、法人の運営規則・個人情報保護制度・守秘義務規程・服務規程などが制定されている。透明性の高い組織運営のために法人の園長会や監査制度があり、当保育園は既に福祉サービス第三者評価を実施して公表されている。また、昨年度からは保育の質ガイドラインを活用した、子どもの権利の尊重の自己チェック、反省を行っている。職員が相互に日常の言動を振り返り、人権に関する研修への参加も行われている。地域とのつながりを深める事により利用者から“選ばれる保育園”となるための今後の取組に期待したい。 ② 意見や要望・苦情の把握の窓口の案内はしているが、保護者認識の面で課題も見られた 利用者の意見や要望・苦情の把握の窓口の案内については、受付担当者、解決責任者を園のしおりや園の玄関に明記しており、苦情解決制度第三者委員者についても知らせている。保護者の第三者委員の認知度の調査結果として、職員アンケートでの自己評価は高かったが、利用者の58.3%しか「知っている」と答えていなかった。地域性という課題はあるが、保護者への情報周知の面で、より一層の拡大に向けた検討が望まれる。利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないように、区のガイドラインに沿った振り返りが行われている。 ③ 地域子育て支援事業に取り組み、ボランティアの実施体制も整っている 当保育園では、保育の専門性を活かした地域子育て支援事業「保育所体験」「育児相談」「パン作り教室」が行われている。募集ポスターや実施記録簿を作成しながら積極的に取り組む園の姿勢は、地域とのつながりを深め、より利用者から“選ばれる保育園”として評価できる。地域の福祉ニーズをより理解し続けることで、最大の成果に期待したい。当園のボランティア活動としては、中学生の職場体験や高校生の職場体験が実施されている。受け入れ体制は整備されており、個人情報保護の説明もその都度に行っている。		
4	カテゴリー 4	

リスクマネジメント		
サブカテゴリー1 (4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4 / 5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点 (○○○○●)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリー2 (4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4 / 4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評点 (○○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリー4の講評		
① リスクマネジメントとして、リスク軽減に向けて積極的に取り組めるようにしている 園では、災害や事故への備えとして緊急時対応マニュアルに沿った訓練が行われ、報告しやすい工夫がなされ、組織的にリスクをマネジメントできる力を持っている。ヒヤリハット事例を活用して予防に向けて積極的に話し合い、環境構成を検討して再発の防止につながるようにするなど、リスク軽減に向けて職員の共通理解が得られる工夫を行っている。また、防犯カメラの設置によって、午睡時の睡眠チェックの様子や保育室の様子の記録を行うなど、保育の中でリスクをマネジメントできるようにもしている。 ② 大規模災害時の対策や訓練を行い、防災体制を強化している 大規模災害を想定した訓練やSIDS対策の見直しなど、災害時や事故への対応について対策を講じている。地震の想定被害に加えて避難場所でも過ごすなど被害状況に変化を持たせたり、備蓄品は避難場所の園児と全職員の必要日数分を備蓄したりするなど、非常時への対応に関する対策を積極的に講じている。一斉配信システムを使用して家庭での防災の取組みを啓発するなども行い、保護者への防災意識向上に向けて、年1回引き取り訓練を行っている。 今後はこれらの諸計画を統合した事業継続計画(BCP)の策定の取組取に期待している。 ③ 子どもの情報を保育上の安全性に活かすため、リアルな情報管理を行っている		

	個人情報保護規程が整備され、実習生、ボランティアの受け入れ時オリエンテーションでの説明や、承諾書にて周知徹底が図られており、保護者には重要事項説明に明記して入園説明会で説明して理解を得ている。今回の保護者アンケートでも、全保護者が理解しています。また、園内の各クラスにパソコンを配備し、情報の伝達と共有や記録作成など、業務の効率化と、防犯カメラの設置による子どもの情報管理や機密重要情報管理が格納され、パスワード設定によるアクセス制限を掛けて情報漏洩も防止している。		
5	カテゴリー 5		
	職員と組織の能力向上		
	サブカテゴリー 1 (5-1)		
	事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	10/12
	評価項目 1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点 (〇〇)		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
	評価項目 2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点 (◎◎)		
	評価	標準項目	
	○あり ◎なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
	○あり ◎なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
	評価項目 3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点 (〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している	○非該当
	◎あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成（研修）計画へ反映している	○非該当
	◎あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
	評価項目 4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点 (〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金、昇進・昇格等）・称賛などを連動させている	○非該当
	◎あり ○なし	2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
	◎あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
	◎あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
	サブカテゴリー 2 (5-2)		
	組織力の向上に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	3/3

評価項目 1		組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点 (〇〇〇)
評価	標準項目			
◎あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している			○非該当
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている			○非該当
◎あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる			○非該当
カテゴリー 5 の講評				
① 職員自らのビジョンに協力し合い、互いに認め合える仕組みが機能している 園は「みんなを親しみ愛し、太陽のような暖かい心を持った子どもを育む」を大切にしている。この考えを職員育成にも展開し、職員自ら主体的に協力し合い互いに高め合えるようにしている。特に、園が独自に作成、運用している保育の自己評価を行う仕組みが、職員の能力向上に大きく寄与している。職員各自が「年度目標」、「自分の強み弱みを活かした取組み」、「なりたい自分」を文章化した「キャリアビジョンシート」を作成して、園長が3ヶ月に一度、その達成状況の確認と意向の把握など、職員の能力の向上と目標の達成を導いている。 ② 多くの研修受講の機会があり、職員の希望や育成も考慮して派遣をしている 多くの研修受講の機会があり、種類として法人グループで企画する地域貢献活動リーダー・保育力向上リーダー・クリエイター部・クラフトデザイン部・リズムパフォーマンス部・フィジカル部・本部・園長・主任の各研修があり、地域社会主催として区が開催する年齢別担任研修、発達障害保育・食育・アレルギー対応・保健衛生などのテーマ別研修、3歳児未満保育者研修など豊富にあり、職員の希望や育成も考慮して派遣をしている。研修内容は職員会議で報告され、報告書は掲示されて既読印とともに感想がポストイットで貼り出されて共有されている。 ③ 区による福利厚生を取り組みがあり、意欲向上のための園のアイデアが活かされている 当園では組織力の強化に繋がる職員の主体的な学びへの支援として、園独自の「私の提案」シートによる気づきや工夫の提案が行なわれている。職員の意欲向上策としては、区のシステムに則ったマネジメントが行なわれており、ストレスチェックなど区の担当部課でも相談に応じる体制が整っている。また、園長は常に職員とのコミュニケーションを図りながら一人ひとりを把握しており、良い点を見いだして成果を認め、意欲に繋がるようにしている。これは、職員の意欲向上に最も貢献している園の取り組みである。				
7	カテゴリー 7			
事業所の重要課題に対する組織的な活動				
サブカテゴリー 1 (7-1)				
事業所の重要課題に対して、目標設定・取組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている				
評価項目 1				
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている (その1)				
前年度の重要課題に対する組織的な活動 (評価機関によるまとめ)				
一昨年度は開設して間もないこともあって、運営体制の確立を図ることに力を入れていた状況があった。このことから、園が大切にする「未来の希望に向かって発展・向上する明るく元気な子どもを育む」について再度職員間の相互理解を得ることを重要課題と捉えた。実行計画として、あらためて保育理念の具現化を行うことと、「季節ごとの小さな行事を保育の中に取り入れていく」上での保育力向上リーダー・クリエイター部を中心に年間の行事を見直し、行事の設定を行った。保育の中で各部が稼働し行事を作り上げることは、つつい行事の開催のみに意識が向き、日頃の保育の中の経験を活かし、行事の体験に結び付けることができなかったなど、保育理念の具現化に向けて保育の振り返りを計画的に行った。今年度の行事は、準備期間にゆとりを持ち、計画的に取り組むこと、担当者の立てた計画をもとに、保育の中に取り入れられる活動を各部活で提案していくことを計画的に行っている。				
目標の設定と	◎具体的な目標を設定し、その達成に向けて取組みを行った			
取組み	○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取組みが行われていなかった			

	○具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目 1 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
園が大切にしている保育の実現に向けて高い課題意識を持ち分析したことで、当園の理念の具現化として気づいたことは大きい。さらに、話し合いや振り返りだけにとどまらず、園のリーダー・クリエイター部を中心に年間の行事を見直し、職員が自らの保育を振り返り、事業所理念と自分の捉え方とのギャップや共通点を見出し、取り組んだ姿勢が大きな成果を得たと考えられる。今後も、めざすべき姿に近づけるために当園の重要課題を見出す取組を継続していくことにより、当園の組織基盤の構築が前進していくことに期待する。	
評価項目 2 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）	
前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）	
一昨年は保育の中で職員の共通理解が得られていない状況があったことから、昨年度は会議で自発的に問題提議し意見交換することを重点課題と捉え、計画的に課題解決に取り組んだ。具体的な施策としては、クラス会議での担任としての思いや、クラスについての意見を自分の言葉で話をする場を活用し、自らの保育の振り返りを計画的に行った。	
目標の設定と取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目 2 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
職員間で異なる意識を交換し合う場として、園長会、全体会議、クラス会議などを活用した。保育をおこなう上で必要な職員の関係性構築を重点施策として行ったことにより、職員間の共通理解が促され、前向きな取組が行われた。同時に組織風土の醸成の面で、会議の主導は園長、主任であるためなかなか自主的な視点での話し合いになっていない体制自体を課題と捉える分析力が運営面を前進させていく力となっている。今後はこの基盤を徐々に発展させることにより、職員がみずからどのような生き方や働き方を描くのかといったキャリアビジョンと連動させることにより、より充実した職場環境の引き続きの取組みに期待したい。	

〔サービス分析：小規模保育事業〕

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリー 6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目		
1	サブカテゴリー 1		
	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4/4
	評価項目 1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している 評点（〇〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
	◎あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	◎あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリー 1 の講評		
	① 利用希望者が保育園の情報を入手しやすく、区のサイトからもリンクが行われている 利用希望者への情報提供の面では、法人のホームページに見られ、区の入園案内のもと入園後の園との関係性の構築に寄与させている。具体的には、園の理念や方針、目標、保育が具体的かつ丁寧に説明され、保育内容も明確に掲載されており、利用者は園選択の参考にできる内容としている。また、入園ガイドを郵送時施設見学、保育体験のお誘いをする事で、利用希望者が自分の子どもにとって相応しい園かどうか判断する材料にしている。会社のホームページやfacebookでMIRATZ全園を紹介し、本園利用時の保護者の安心材料にも繋がっている。 ② 利用希望者の理解促進に役立つよう園紹介ポスターやホームページが工夫されている 事業所の情報を行政や関係機関などへの提供の面では、地域の様々な人たちの目に止まるよう、園の玄関にポスターを掲示、委託医クリニックや、歯科医、産婦人科など協力頂き掲示している。特にポスターのデザイン性が良く、強調したいところは写真、文字の大きさや色にも配慮した園の特徴を鮮やかに紹介している。また、園のホームページもポスターと同様に、検索してきた利用希望者が求めたい情報を手軽に入手できる構成にして工夫がされている。電話やメール等を通じて利用希望者の疑問に回答する仕組みも整っており、当園の情報発信の上手さも実感できる。		
2	サブカテゴリー 2		
	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
	評価項目 1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点（〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
	◎あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	◎あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
	評価項目 2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点（〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
	◎あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っ	○非該当

	ている																			
	サブカテゴリー 2 の講評																			
	① サービス開始にあたり、基本的ルールや重要事項等を丁寧に説明して同意を得ている 入所前には、入園面接を行い、入園のしおり、重要事項説明書、利用契約書などをもとに、園の基本的なルール、重要事項等を保護者にわかりやすく説明している。準備する持ち物などは、サンプルを見せながら説明し、入園のしおりにも写真付で掲載している。説明後は、利用契約書2通に署名押印をいただき、1通は保護者、1通は園で保管している。面接で聞き取った子どもの状況や保護者の意向などは記録に残し、受け入れ準備に役立てている。 ② 保育に必要な情報を把握し、園の環境に慣れるよう配慮している 子どもの保育に必要な個別事情や要望は、児童票、入園までの生活状況、健康記録、緊急連絡カード、乳児の食事調査表、アレルギー対応についてなどの書類に記入してもらい把握している。送迎者については写真付にするなど、安全面も配慮している。利用開始時は、子どもの不安やストレスが軽減されるように少しずつ保育時間を延ばす慣らし保育を行っている。お迎えの時には、一人一人丁寧に子どもの様子を伝えている。子どもの様子や保護者の就労状況など、個別に相談しながら慣らし保育を行い、保護者の不安の軽減も図っている。 ③ 転園先の施設との連携について、より一層の取組に期待したい 足立区の「先行利用調整」では、申込みを行うことで、小規模保育や保育ママ等2・3歳児で卒園を迎える児童が卒園後優先的に入所決定できることとなっている。特別な配慮が必要な子どもに対しては転園先の施設と連携をとり、保護者の了解を得るなど個人情報を考慮した上で情報提供を行っている。園では、配慮が必要な子どもに対しての情報提供の仕方がまだまだ足りていないと捉えている。区と連携の上、より良い情報提供書の作成や、方法などを検討することに期待したい。																			
3	サブカテゴリー 3																			
	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の 12/12 標準項目実施状況																		
	評価項目 1 定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、 子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点（〇〇〇） <table> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている</td><td>○非該当</td></tr> </table>		評価	標準項目		◎あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	◎あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	◎あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当						
評価	標準項目																			
◎あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当																		
◎あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当																		
◎あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当																		
	評価項目 2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点（〇〇〇〇〇） <table> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている</td><td>○非該当</td></tr> </table>		評価	標準項目		◎あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当	◎あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当	◎あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	◎あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	◎あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当
評価	標準項目																			
◎あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当																		
◎あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当																		
◎あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当																		
◎あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当																		
◎あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当																		
	評価項目 3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点（〇〇） <table> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある</td><td>○非該当</td></tr> </table>		評価	標準項目		◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当												
評価	標準項目																			
◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当																		

	◎あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
	評価項目 4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している 評点 (○○)		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
	サブカテゴリー 3 の講評		
	① 子ども一人一人の状況を把握し、統一した様式に記録をして共有を図っている 子どもの心身状況や生活状況等は、園で定めた統一した様式に記入をしている。今年度、けんこうカードは予防接種状況を分かりやすくするため見直しを行った。日常の保育や保護者とのやり取りから把握した子どもや保護者のニーズや課題は、毎月子ども一人一人に対して目標設定を行い、月末には評価反省をする仕組みとなっている。また、月1回クラス会議を行い、クラスの状況や個々の成長について確認を行い全職員で情報を共有し保育に活かしている。		
	② 指導計画は、全体的な計画を踏まえて作成している 年間指導計画は、園の考え方や保育方針を踏まえた全体的な計画をもとに、各年齢ごとに作成し、年間から月案そして週案に下ろしている。週案は、区の保育の質ガイドラインに基づいて様式を変更し、内容の充実を図っている。個別の指導計画は全園児分作成しており、子どもの発達・健康状態や日常の様子、家庭環境などから「子どもの様子」「育てたい内容」を記載し、「評価・反省」欄で月ごとに振り返る仕組みになっている。		
	③ 子どもや保護者の情報は、チェックシートや掲示方法を工夫して共有している 朝の受け入れ、日中の様子、延長保育での日々の保育内容は保育日誌に記載している。子ども一人一人の基本的な生活習慣などの達成状況は、「保育記録」の書式に5・9・2月と記入月を決め、成長の様子がわかりやすく記載されている。日々の健康状態や出欠席、登降園の変更はチェックシートに記入している。よりわかりやすくするために同じ内容を事務所のホワイトボードにクラスカラーの付箋を使い工夫して掲示することで情報共有が図られている。		
	サブカテゴリー 5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5/5
	評価項目 1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点 (○○)		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	◎あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
	評価項目 2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点 (○○○)		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
	◎あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
	サブカテゴリー 5 の講評		
	① 個人情報の取扱いに関しては注意を払い、羞恥心にも配慮をしている 個人情報保護の観点から、入園時に園の公式facebookへの写真の掲載や製作物としての写真の使用について説明し、同意の有無を確認している。子どもの羞恥心に配慮した保育を行うために、身体測定など衣服を脱ぎ測定する場合は、		

	外部の出入りのない場所を選んで行っている。また、トイレの前には目隠しのカーテンを設置し、オムツ替えはトイレ内のオムツ交換台を使用している。 ② 子どもの人権を尊重した保育を大切にしている 子どもの自由な遊びを妨げることのないように、排泄時や次の活動への移行の言葉がけは強制的にならないよう子ども一人一人のタイミングで行っている。虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、人権についての研修への参加や区の要保護児童対策地域協議会第七合同地区連合会議に出席し、常に新しい情報を把握するよう努めている。職員は、区のガイドラインをもとに、保育実践振り返りのチェック表を使用して自己評価を行っている。自らの発言などを振り返り、子どもの人権を大切にしたい保育に努めている。																							
6	サブカテゴリー 6																							
	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5																					
	評価項目 1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点 (○○○) <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table> 評価項目 2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点 (○○) <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table> サブカテゴリー 6 の講評 ① 当園のマニュアルや職員個人に配布するマニュアルで標準化を図っている 当園は、保育者業務や安全面、コンプライアンスなどカテゴリーをわけたマニュアルを作成している。特に散歩マップの作成の取組として、散歩先の詳細な情報を記載することで年齢や目的を明確化し、日常的に保育士が手引きとして活用することで、子どもの安全を一層守るためのものに検討されている。また、各種会議や研修でマニュアルの読み合わせに取り組み、手順などを確認している。 ② 園運営についての保護者アンケート結果の評価分析による次年度の改善に役立てている 日々の保育で使用する様々なチェック表は、少しずつ改善をしており、特に0歳児の睡眠チェック表を使いやすく変更している。内容については園長が確認を行っている。 また、年度末には一年間の園運営についてのアンケートを作成し保護者から評価をして頂き、内容を集計、結果を公表し、次年度の運営に活かしている。 ③ 職員用のマニュアル配布や研修、会議などで業務の一定水準を守っている 保育の基本事項や手順など、サービスを一定水準に保つため、変更事項や計画などを職員会議や連絡などで全職員に周知している。また、保健衛生の手順書や職員マニュアルなどを配布して、一定水準の保育が提供できるようにしている。また、一定水準の知識や技術を身につけるために、研修に参加し、その知識や技術を報告書や会議での報告により、全職員が共有できるようにしている。会議に出席できない職員は、報告書などを読んで、新しい知識や技術を知ることができるようにしている。			評価	標準項目		◎あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	◎あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	◎あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	評価	標準項目		◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
評価	標準項目																							
◎あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当																						
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当																						
◎あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当																						
評価	標準項目																							
◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当																						
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当																						

III サービスの実施項目（カテゴリー 6-4）

サブカテゴリー 4			
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
1	評価項目 1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている 評点 (〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
◎あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
◎あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつき等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
評価項目 1 の講評			
① 子どもの発達状況や生活状況などを把握し、一人一人を大切に丁寧な保育に努めている 毎日の保護者とのコミュニケーションを大切にし、保護者とのやり取りや連絡ノートのやり取りの中では、子どもの発達状況や生活状況などを把握し、一人一人を大切に丁寧な保育を目標として対応の仕方を検討し実践している。また、子どもの育ちにつながる園での情報を保護者に伝え、情報共有を図っている。統一した保育が展開できるよう、常に職員同士での周知を心がけ、保育に活かしている。 ② 子ども一人一人の特性を細かく丁寧に読み取り、保育を進めていくことを心がけている 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持つことができるよう、保育室の環境は、自分の手で好きなおもちゃを出し、遊び込めるようコーナーごとに配置の工夫を行っている。少人数での保育を行っているため、子ども一人一人の特性を細かく丁寧に読み取り、時にはとことん寄り添って保育を進めていくことを心がけている。職員も環境の一部と考え、区の保育の質ガイドラインを職員一人一人が手元に置き、定期的（7・10・2月）に自己評価を行い、丁寧なゆとりある保育を目標としている。 ③ 特別な配慮が必要な子どもが他の子どもと共に成長できるように支援している 園生活の中で、特別な配慮が必要な状況にある子どもを見守り、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう支援することに努めている。配慮面や、対応等で困った時には、区の発達支援巡回相談を利用し、専門家のアドバイスをもとに個別の配慮を行っている。保育士だけでなく、調理担当職員などを含む全職員が、全園児を見守り、大小に関係なく気づいたことを伝え合い、子どもや保護者にとって最良の保育を提供しようという目標を共有し、日々の保育を展開している。			
2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている 評点 (〇〇〇〇)		
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
◎あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
◎あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当

☒ あり ☐ なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	☐ 非該当
評価項目 2 の講評		
① 登降園時は保護者とのコミュニケーションを大切にし、子どもの情報を共有している 登園時には、子ども・保護者と挨拶を交わし、子どものその日の様子などを確認している。コロナ感染予防対策により、けんこうのきろくのカードを新たに導入し、カードの記入内容により受け入れ時に聞き取りをする内容はチェックシートに記載し、朝礼で全体に周知、早番より担任へ報告を行い、情報共有を図っている。降園時は、担任よりその日の様子を一人一人丁寧に伝えている。担任が伝えられない場合は申し送りを受けた当番職員が保護者に伝える仕組みになっている。 ② 基本的な生活習慣の獲得は、保護者と情報共有しながら発達の状態に応じて行っている 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう年間の保健指導計画を作成し、看護師を中心に衛生指導を行っている。今年度は、看護師が入職したことから、歯磨き指導や手洗い指導など、より充実した内容となっている。0歳児は栄養士とともに離乳食の進め方の助言を行い、家庭と連携して進めている。 ③ 休息や午睡は子ども一人一人の状況に応じて対応している 休息や午睡は、登園時に保護者から確認した情報と、子どものその日の様子や体調に応じて、子ども一人一人に配慮し、状況に応じた対応をしている。0歳児クラスでは午前寝や、食事、ミルクのタイミングにより個別に入眠させている。睡眠中に起こるリスクの一つである乳幼児突然死症候群（SIDS）に備え、0歳児は5分ごと、1・2歳児は10分ごとに睡眠状況のチェックをし、午睡チェック表に記載している。		
3	評価項目 3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している 評点（○○○○○ ○）	
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがぎまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	☐ 非該当
評価項目 3 の講評		
① 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている 区の保育の質ガイドラインを参考にし、週案の書式を変更し、月のねらいから下りてきている週のねらい、活動内容などがわかりやすく記されており、「予想される遊びと保育者の配慮等」には室内や戸外活動の環境図を添えて具体的な配慮面などを記している。そのねらいをもとに室内を椅子やパーテーションで区切り、室内の玩具など取り出せるように工夫したり、個々の空間を持てるように工夫したりしている。子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の環境設定を行っている。 ② 子ども一人ひとりの状況に応じて、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している 言葉（コミュニケーション）の学びは、安心できる環境の中で、食事の介助の仕方によって大きな影響があると捉えている。できる限り少人数での介助を行うことを心がけ、特に0歳児は1対1での食事の場面を設定している。園では担当制を中心とした保育を展開しており、強制的な言葉掛けはしないようにし、一人一人に寄り添い子どもの気持ちをくみ取りながら一日を穏やかに過ごせるよう努めている。		

	③ 季節の移り変わりなどが感じられるポイントなどを意識しながら戸外活動を行っている 当園は小規模園のため園庭はないが、近隣の公園など社会資源を使って戸外活動を行っている。おさんぽマップを作成し、季節の移り変わりなどが感じられるポイントなどを意識しながら週案では戸外活動環境図や配慮点の計画を立てている。2歳児は公園でルールのあるかけっこに取り組んだり、夏祭りのお店屋さんごっこ遊びにつながるよう商店街に散歩に行ったり、保育者は散歩のマナーや交通ルールなども伝え生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付くようにも取り組んでいる。		
4	評価項目 4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している 評点 (○○○)		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
	◎あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
	◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
	評価項目 4 の講評		
	① 行事を特別な保育と位置付けず、行事を楽しみ、意味のあるものとなるようにしている 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう、行事を特別な保育と位置付けず、行事を楽しみ、意味のあるものにするため、保育の中で体験を重ねていかれるように配慮している。園の保育方針として「すべては遊びの中から学ぶ」ということを大切にしている。また、日本特有の行事を大切にし、子どもたちに伝承している。以前(昔は)家庭で体験できていた行事を保育園で経験し、季節の移り変わりなどを感じられるように心がけている。 ② クリスマス会では、クラスごとに日ごろの保育の延長とした発表を行っている 例年、12月に行われるクリスマス会では、クラスごとに日ごろの保育の延長とした発表を行い、保護者を招待している。劇は、毎日の保育のなかでセリフや動きが変化しており、担任と子どもたちのやりとりが当日そのまま発表につながっている。今年度は、10月に「MIRATZ六町オリンピック」を計画している。園全体で戸外活動を楽しみ、その様子を保護者に見学してもらい、子ども一人一人の日常の様子や成長の様子を感じてもらえるよう準備をすすめている。 ③ 年度当初に年間行事表を配布し、保護者参加の行事をあらかじめ伝えている 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、年度当初に配布する年間行事表に保護者参加の行事をあらかじめ伝え、各行事のねらいや取組内容、詳細などは1ヶ月前にプリントなどで周知をしている。保護者参加の行事後にはアンケートを実施し、集計結果を保護者に知らせている。保護者からの意見や要望を把握し、次の行事の企画に反映させるよう取り組んでいる。		
5	評価項目 5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている 評点 (○○)		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
	◎あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
	評価項目 5 の講評		
	① 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている 今年度は利用者の特性に合わせ、昨年度の19時30分までの延長保育から18時30分までの長時間保育に変更になっている。朝・夕の時間は保育士の配置が十分となるように異年齢の保育を行っている。合同の保育への移動のタイミングや職員の配置、各職員の役割を明確にし、安全な保育が行えるように配慮している。子どもの人数に対し保育士の人数を十分に配置することで、子ども一人一人に寄り添い、丁寧な保育を展開している。子どもがつかれた時には布団やマットを敷いて体を横にする環境も用意している。		

	② 保育時間が長くなる中で、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている 朝・夕の保育時間は異年齢児の合同保育とし、0歳児の人数をふまえ、保育室や玩具の設定を行っている。合同保育とすることで、寂しさを減らし、きょうだいでゆっくりと過ごす様子もみられている。日中遊び足りなかった様子がみられれば、その玩具を持ってきて遊びの続きを行ったり、しまっていた玩具を出して遊びこんだりするなど、子ども一人一人の興味・関心を汲み取って、保育を展開するよう努めている。保護者のお迎え時には、一日の様子を丁寧に伝えている。		
6	評価項目 6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している 評点 (〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
	◎あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
	◎あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
	◎あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当
	評価項目 6 の講評		
	① 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるよう配慮している 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるよう、遊びの「動」と「静」を意識し、食事の時間への流れを大切にしている。食事の準備のできた子どもから自ら席に着き、落ち着いて食事を始めている。メニューなどに工夫を行い、例えば節分の時は鬼をモチーフにしたごはん、豆サラダ、七夕では天の川を見立てたり、野菜を星型にくりぬいたり、まるで絵本の一ページのような色彩にもこだわった盛り付けで、子どもたちの食への興味や関心をひくものとなっている。 ② 子ども一人一人に合わせた、安心・安全な食事を提供している 入園時にはアレルギーの有無を確認し、園での配慮が必要な場合には医療機関を受診してもらい、医師による「生活管理指導表」の記載をお願いしている。アレルギーのある子どもの対応マニュアルを策定し、献立作りから園長、主任、担任、調理とともに対応している。配膳の際には名札と色違いの食器で確認し、調理担当と保育者で声を掛け合いミスが起こらないようにしている。保育園での生活の中で大きな意味を持つ食事については保育、調理、家庭で連携をとり進めている。 ③ 食についての関心を深めるための取組を行っている 栄養士が中心となって年間食育計画を作成し、保育と連携をとり、進めている。行事の際には、保育の行事を盛り上げる役目となるよう、行事のねらいに合った行事食を設定している。食育活動は1・2歳児が中心に行い、クラスの状況、子どもたちの興味をよく理解し活動内容を決め活動している。季節ごとの野菜に直接触れたり、クッキー作りを行ったり、子どもたちは楽しく活動している。2歳児は近隣のスーパーの協力のもと、お買いもの体験も行っている。		
7	評価項目 7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している 評点 (〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
	◎あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当
	評価項目 7 の講評		
	① 看護師が中心となり、年間保健計画に沿って、年齢に合った保健指導を行っている 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように、看護師が中心となり、年間保健計画に沿って、年齢に合った保健指導、体験を計画している。歯磨き指導では、看護師が歯磨きの絵本を読み、子どもたちがフェルト歯ブラシでゴシゴシとパペットのかばさんのお口の中を磨き、楽しく歯磨きの大切さを学んでいる。		

② 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携し、対応を行っている

医療的なケアが必要な子どもに対しては、専門機関等との連携し、対応を行っている。例えば、アレルギーがある子どもに対しては、アレルギー対応マニュアルを作り、対応についての周知を園、保護者ともに確認し、情報共有している。また、緊急時に対応できるよう、児童票の保管を明確にしている。今後は看護師を中心とした緊急時対応訓練を定期的に設けていき、さまざまな状況を想定したマニュアルの策定を行いたいと検討している。より一層の取組に期待したい。

③ 保護者と連携をとって、子ども一人一人の健康維持に取り組んでいる

保護者と連携をとって、子ども一人一人の健康維持に向けた取組として、毎月ほけんだよりを発行し、その時に合った内容を考慮して載せ、保護者への周知、協力を呼び掛けている。特に0歳児クラスの慣らし保育を重要と考え、保護者と連携を図りながら、無理なくゆっくりと進めるよう努めている。また、予防接種の記録を正確に記録し、未接種については保護者の就労状況にも気かけながら、看護師から話をして子どもの健康維持に取り組んでいる。

8 評価項目 8
保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている 評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
◎あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目 8 の講評

① 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている

入園のしおり・利用契約書をもとに、保護者の就業時間、通勤の状況を考慮し、保護者と話し合いのもと契約時間の設定をしている。状況により急な時間変更、長期の変更などにも対応している。園の方針には「働く女性をサポートし、子どもがいても安心して働ける社会づくりに寄与する価値ある組織を創造する。」を掲げており、小規模園の特性を大切にし、保護者に寄り添い、子育て支援・就労支援に努めている。

② 保護者と職員の信頼関係の構築を大切にしている

保護者同士が交流できる機会として、年度末には進級に向けての懇談会、入園後の保育参加などを計画している。保護者と職員の信頼関係が深まるよう、年度当初には面談を行い、クラスだよりを通じてクラス方針をしっかりと伝えている。また、送迎時の会話のなかで保護者に寄り添い、子どもの様子や状況を共有し、サポートを行っている。保護者への連絡・伝達・相談など、丁寧に行い、信頼関係を構築するよう努めている。

③ 子どもの育ちとともに保護者にも寄り添い、「親育て」にも目を向けている

子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得るために、毎月の園だよりには、園長の思い、園としての方針などの思いを込め、手書きで作成している。手書きにすることで園の思いと温かみがより伝わるものとなっている。園の中の状況やそれを取りまく状況により、その都度、園の思いを伝えていくことを大切にしている。0歳児で入園する保護者に対しては特に子どもの育ちとともに保護者にも寄り添い、「親育て」にも目を向けている。

9 評価項目 9
地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている 評点(〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
◎あり ○なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

評価項目 9 の講評

① 近隣の公園や高齢者施設など、地域資源の活用機会を設けている

園では、雨や熱中症の心配がなければ午前中に戸外活動を行っている。「挨拶や遊びに必要な会話」を通して、社交性を養うねらいをもち、散歩では近所の方と挨拶を交わして家庭菜園の野菜をみせてもらったり、公園では他施設の子どもたちと交流を行ったりしている。近隣の高齢者施設では、歌を発表したり、手づくりのうちわをプレゼントしたり、園の職員以外の人との交流や世代間交流を行う良い機会となっている。

② 地域とのつながりを大切に、開かれた園作りに努めている

園では、地域貢献年間活動を計画し、園主催の行事や地域の対象児向け保育体験の企画、中学生や高校生の職場体験、実際に保育の仕事に興味をもっている大学生、専門学校生への職場体験など目的をもって行っている。地域とのつながりを大切に、地域の中で園も子どもたちも成長していけるよう、開かれた園作りに努めている。

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5-1-4	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる
タイトル①	職員の育成に努め、評価にも役立てるためキャリアビジョンシートを活用している	
内容①	園長は園の保育として、子どもの自発的な動きや興味を引き出し、自由に遊ぶことを大切にしている。また、職員にも、遊びを中心とした保育を行えるように助言や指導をしている。育成の一環としてキャリアビジョンシートと呼ばれる書式を使い、年度当初に目標を3つ示すと同時に、自分の強みと弱み、これを活かす取り組み、なりたい自分などを決める。これにより、職員の目的が明確に定まり、園の遊びを中心とした保育を自ら考え実践する様になっている。さらに、キャリアビジョンシートは職員の個人面談や評価にも活かしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目		
タイトル②		
内容②		

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	職員と力を合わせ、マニュアルの整備を進めている
	内容	当園は設立3年目であるが、昨年度の第三者評価では、園の運営を定めたマニュアルの整備が必要と指摘されている。本年度は4、5月がコロナウィルスの影響により休園となったため、その期間に、看護師と園長が中心になり、マニュアルの整備を進めた。防災やアレルギーなど危機管理を栄養士、調理師などを入れて、作成を行っている。園の再開時に全職員に説明すると同時に、見落とされていることなどを配布したマニュアルに各職員に書き込んでもらい修正をかけている。全園的な活動としてマニュアル作りを進める優れた活動を行っている。
2	タイトル	小規模園の環境を活かした保護者と密着した関係性の中で、「親育て」にも目を向け目標の共有や保育への理解に向け取り組んでいる
	内容	園では、小規模保育園だからこそできる一人一人の子どもに寄り添った丁寧な保育を行っている。0歳児で入園する保護者に対しては特に子どもの育ちとともに保護者にも寄り添い、「親育て」にも目を向けている。全職員が保護者、園児を把握し、園での様子などを丁寧に伝えている。園だよりは、より保護者に伝わりやすいよう手書きで作成し、クラスごとの目標や様子を伝えている。朝・夕の保護者とのコミュニケーションでは、目標を共有するために保護者にわかりやすく伝わる言葉を選び、ともに育てていく気持ちをもってもらえるように働きかけている。
3	タイトル	担当制保育を行い、一人一人の心の安定とそれぞれのペースに合わせた発達援助を行っている
	内容	0～2歳児は、人として育つ基盤を作る要の時期という重要性を考慮して、日々の保育は担当制を中心として行われている。特定の保育者が食事・排せつ・着替えなどの生活面に関わることで子どもとの信頼関係を構築し、一人一人の心の安定とそれぞれのペースに合わせた発達援助を行っている。担当制を行うことにより、生活リズムの把握や保護者との連携を図りながら、愛着関係の構築による情緒の安定にも配慮している。一人一人を大切に丁寧な保育を第一と考え、早期の愛着形成のもとで子どもが安心してのびのびと過ごせるよう支援を行っている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	地域の子育て家庭をサポートする方針を掲げ積極的に情報提供や地域活動を展開しているので継続と発展に期待したい
	内容	当園は地域支援を積極的に行う方針を掲げている。情報の交流や発信ではSNSを使って、園の情報を発信しており、それが保護者や地域に浸透しつつある。また、園のポスターを園の玄関だけでなく、委託医のクリニックや歯科医院、産婦人科医院などに掲示してもらうなど、積極的に地域に溶け込む努力をしている。更に、地域貢献活動リーダーが中心となり、高齢者施設との交流や、おやつ講習会の開催を行っている。おやつ講習会では5人が参加し父親が多く参加するなど、身近な交流積極的に進めているので更に発展を期

		待したい。
2	タイトル	小規模園としてどのようなキャリア形成が図れるか、検討と制度の構築を期待したい
	内容	当園は2歳児までの小規模園であるが、法人として、職員を成長させ、意欲を持って働けるように、法人内でのキャリア形成の方向性を示すことが望まれる。当園では、職員がそれぞれ、リズムパフォーマンスやフィジカルなどの研修を受けて、専門的な知識や技術を学とともに、地域貢献リーダーなどの活動を通して、成長するように取り組んでいる。さらに、キャリアシートを活用し、目的意識を明確にする取り組みをしている。このような知識や技術を活かすとともに、保育や組織運営をどのように身につけるかなどの方向性を示すことを期待したい。
3	タイトル	今年度入職した看護師によりさまざまな保健指導に取り組んでいるため、専門性を活かしたより一層の取組に期待したい
	内容	当園は、今年度より看護師が入職し、年間保健計画や健康記録の書類の整備を進めることができている。毎月の保健だよりでは保護者に向け季節に合った情報を発信し、感染予防対策への理解や協力などを仰いでいる。また、園の公式facebookでは歯磨き指導や手洗い指導などを積極的に発信している。また、看護師の専門性が活かされたマニュアルの整備なども検討している。職員や保護者に向けた研修会などの開催や、地域へ向けた情報発信や育児相談など、看護師の専門性を活かしたより一層の取組に期待したい。

